

今回は農薬について紹介する機会をいただき、お礼申し上げます。

農薬は作物を生産するための生産資材で、一般消費者が手にすることは少なく、テレビなどの報道を通して怖いもの危ないもの触れたくないものと思われる方が多いと思います。農薬業界に携わる者が、裏から見た農薬を紹介したいと思います。

同じ薬と名の付く医薬品は病気に効果があれば、ある程度の副作用は容認されますが、農薬は効果があっても人体、家畜、環境に悪影響があるものは販売が許可されません。農薬は、10年の開発期間と100~1500億円の費用が掛かります。費用の多くは毒性の試験費用です。

また、農薬は国の承認を受けずに勝手に販売することは出来ず、罰則もあります。承認も農林水産省はもとより環境省、厚生労働省、内閣府の中の消費者庁、各々の承認を受け効果と安全性がチェックされ、合格しなければ販売できず、少しでも疑問点があれば場合によっては費用をかけてデータを追加で提出し、承認を受ける必要があります。

消費者が一番気にしている農薬の安全性は、動物試験により確認された害にならない量、具体的には、体重1キログラム当たり口にしても安全な量を元に、その数百分の一以下になるよう一般的な食生活で作物毎に人が一日に食べる食物の量を統計データから逆算して、作物に使用する農薬の量を決めています。ですから作物に残っている農薬の量が基準値を超えたとの報道は、安全な量の数百分の一の基準を越えたものがほとんどで、これが直ちに人に被害がでる量からは程遠い量です。

以前は作物に残っている農薬が検出されただけで、危ない食べ物だと決めつける風潮がありましたが、近年特に福島原発事故のあとはリスクについての考え方が浸透して、世の中にはゼロリスクは存在しないことが浸透してきたように感じます。

農薬メーカーとしては直接、消費者に農薬の安全を伝える「農薬ゼミ」を全国で開催し、農薬についての知識、必要性、安全性を伝える活動を行っています。

最後に弊社の鹿児島県での地域貢献についてお話をさせていただきます。それは、ミカンコミバエの根絶事業です。ミカンコミバエは1929年に奄美群島で発見され1980年に鹿児島県での根絶が確認されました。ミカンコミバエは果実に卵を産み付け、その結果、食用とならず、またそれらの作物は島外への持ち出しが出来ず、奄美以内の諸島の農業振興のためにも根絶は悲願でした。1968年に「雄絶滅法」による防除が喜界島で始められました。これは、ミカンコミバエの雄成虫だけを誘引し雄だけを誘殺し、雌が有精卵を産めず、種は絶滅するという理論に基づいています。日本初の試みで弊社が製造した製品を使用し、同年に喜界島でのミカンコミバエの駆逐に成功したのを受け順次与論島、沖永良部島、徳之島、奄美大島と防除が開始され、ついに1980年に根絶が確認され、50年に渡るミカンコミバエとの苦闘の歴史に終止符が打たれました。



会務報告

- ①地区大会の申込みをいただきましたが、変更は10/24まで受け付けます。
- ②例会終了後、社会奉仕委員会を開催しますので、関係者はお集まりください。
- ③10/23(日)世界ポリオデーのチラシをお配りします。
- ④11/6(日)第9回わくわく福祉交流フェアのチラシを掲示しています。



例会終了後、社会奉仕委員会が開催されました。

●出席率80%を目指しましょう！

第3040回例会 出席報告		
会員数	出席数	出席率
35(32)名	22名	68.75%

●今後の予定

11/2(水)	祝日休会
11/9(水)	外部卓話 山形屋取締役本部長 馬場真一様
11/16(水)	第5回クラブ協議会 (地区大会報告)

市内ロータリークラブのプログラム 記帳メークアップ★11:30~12:30 ☆17:30~18:30

RC	例会日	プログラム	例会場	RC	例会日	プログラム	例会場
東	10/27(木)	☆山ノ内ガバナー公式訪問	ホテルレクストン 鹿児島	令和	10/31(月)	例会なし	ホテルレクストン 鹿児島
北		会員卓話	アートホテル	東南	11/1(火)	財団フォーラム	サンロイヤル
サザン		例会なし	ホテルレクストン 鹿児島	城西		例会なし	ホテルレクストン 鹿児島
鹿児島	10/28(金)	外部卓話 鹿児島大学教育学部教授 池川直様	山形屋	西	11/2(水)	山ノ内ガバナー公式訪問	山形屋
アガミー		例会なし	鹿児島大学	西南		クラブフォーラム	ビエント
中央	10/31(月)	外部卓話 東川隆太郎様	山形屋				